

三股町教育研究所
所長（教育長）石崎 敬三

Time flies like an arrow

研究所だよりの原稿執筆も3回目となりました。令和元年7月発行の第80号では「ICTと教育」というタイトルで、三股町が他市町村に先駆けて教育のICT化を進めてきた状況や教育研究所でのICTの利活用の研究について、さらに学校訪問で目にしたICTの活用状況の感想を述べています。最後に、「夢としては、児童・生徒一人に一台のタブレットPC配備を目指したいところではありますが、(中略)学習用タブレットの利用が児童・生徒の確かな学びにつながっていくことを期待したいと思います。」と結んでいます。

令和2年7月発行の第83号では「With コロナ時代を生きる」というタイトルで、新型コロナウイルスの感染状況や、文部科学省が掲げた「GIGAスクール構想」への対応、もし第2波の感染拡大が起こった場合の学びの保証について触れています。

読み返してみると、「夢」であった児童生徒一人に一台のタブレットPC配備が現実のものとなりました。新型コロナウイルスの感染拡大は第4波がようやく落ち着きを見せ、水泳の授業が実施できているのは嬉しい限りです。本町ではワクチン接種は順調に進んでいますが、東京都では新規感染者数が増加傾向にあり、新たな局面に入ることも予想される状況です。この2年間で、教育を取り巻く環境が大きく変化していることに、まさに「光陰矢の如し」との感慨を禁じ得ないところです。

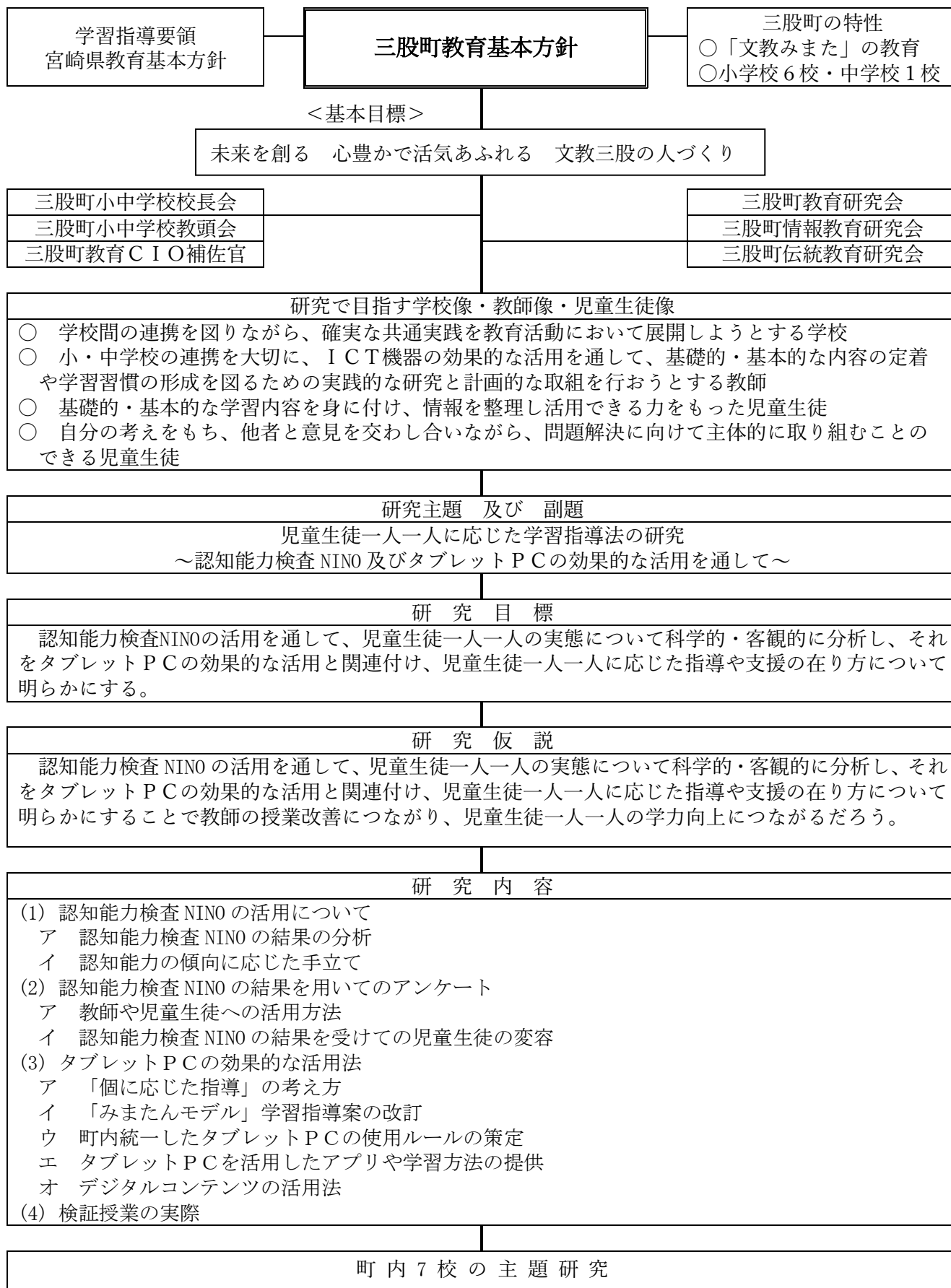
さて、令和3年度の教育研究所の研究主題は「児童生徒一人一人に応じた学習指導法の研究」、副題を「認知能力検査NINO及びタブレットPCの効果的な活用を通して」としています。認知能力検査NINOについては、エビデンスに基づき児童生徒理解を深めるためのツールとして、今年度は全小学校の第3学年から第5学年と中学校の第1学年を対象に実施しました。今後はNINOの結果をどのように理解し具体的な手立てに落とし込んでいくかが課題であると考えていますので、教育課担当職員による先生方へのサポートや研究所での研究成果をもとに、一層の活用を進めていきたいと考えています。学習用タブレットは、6月下旬にようやく配備が完了しましたが、具体的な活用はこれからだろうと思います。6月29日に三股小学校で行われた研究授業では、学習支援ソフトの一斉配信機能を活用した指導が行われました。「Experience is the best teacher」といいますが、授業の中で積極的に利用していただきたいと思います。

もうすぐ一学期終業の日を迎えます。私が小学校1、2年生の頃は一日がとても長いと感じていましたが、日曜日や夏休み、冬休みはなぜか時の流れが速く、もっと早く宿題をやってあげばと後悔していました。先送り体質だったのですね。その後、齢を重ねるごとに時があっという間に過ぎ去ってしまうようになったので、最近は、極力物事を先送りしないように努力しています。先生方には夏季休業期間中を1学期の振り返りと2学期に向けた充電期間として有意義に過ごしていただきたいと思います。

Time flies like an arrow!



研究の全体構想



令和3年度三股町教育研究所の研究内容

① 認知能力検査 NINO の活用	児童生徒一人一人の実態について、NINO の結果をもとに科学的・客観的な分析を行い、分析結果を授業改善に生かす方法について検討します。
② タブレットPCの効果的な活用	授業改善の方策にタブレット PC を関連付け、授業における児童の理解を深める指導や、個に応じた指導のための活用方法について検討します。

以上の内容について研究し、児童生徒一人一人に応じた指導や支援の在り方について明らかにしていきます。

認知能力検査 NINO について、オンライン研修を行いました。

令和3年6月15日(火)、応用教育研究所 研究主任 黒沢 奈生子 氏を講師に、「認知能力検査 NINO 結果の見方・生かし方」とのテーマで、研修会を行いました。研修会では NINO の結果を活用するための分析シートの見方と、授業への生かし方などの解説がされました。たとえば、認知能力のうちの処理速度については、以下の表に挙げたようなことが考えられます。

認知能力	NINO でとらえられる処理の特徴	認知能力の弱さに配慮した指導のポイント
処理速度	課題解決の「速さ」と「正確さ」	☆ 「速さ」と「正確さ」のどこに課題があるかによって、気を付ける点異なる。 ○ 慎重型(速さに課題)…じっくり取り組みすぎて、いつも時間が足りなくなってしまう。 →2回見直したら、先に進む。一見して難しそうな問題は後に回す。 →「速く解く」ことも大切な場面がある、という意識をもたせる。 ○ 性急型(正確さに課題)…おっちょこちよいで、いつもケアレスミスが多い。 →答えを書いたら必ず見直す習慣を付けさせる。(見直しのポイントも同時に教える。) →集中力に課題がある場合には、集中できる環境を整える。

上記した資料については、「PC→三股町学校間共有→教職員→教育研究所→令和3年度三股町教育研究所→NINO 研修資料」内に Excel データで入れております。みなさんご自由にご覧ください。また、各学校に所属している研究員が、今回の研修に関する資料を持っていますので、NINO について気になる点などありましたら、各校の研究員に気軽にお尋ねください。また、昨年度の研究紀要にも、NINO について研究した内容が記載されています。そちらも併せてご覧ください。

研究授業を行いました。

令和3年6月29日(火)、三股小学校を会場に、本年度第1回目の研究授業を行いました。同校教諭である荒木秀太研究員に授業を提供していただきました。

授業は第5学年算数科「合同な図形」です。この授業の中では、NINO で得られた結果を分析し、児童の学びのスタイルに合った授業展開を行うこと。そのうえで、児童の習熟度を高めるためにタブレット PC をどのように活用していけばいいのかということテーマに授業を組み立てていただきました。



○ タブレット PC を使って学習課題に取り組んでいます。



○ ジャストスマイルのノートの機能を使って発表しています。



○ e-ライブラリアドバンスを使って練習問題に取り組んでいます。

授業に取り入れた NINO の分析視点と支援方法、児童の変容

NINO の分析の視点	行った支援	児童の変容
認知能力プロフィールより	①前時の学習を容易にふり返ることができる掲示物を活用する。 ②ペア活動を多く取り入れた後、全体確認を行う。	①前時の学習を生かして本時で活用できた。 ②見直しをする児童が増えた。答えの理由を考える習慣が付いてきた。
思考力の特徴より	③e-ライブラリアドバンスを活用して類題にたくさん取り組ませる。	③学力が高い児童への支援もできた。

令和3年度 三股町教育研究所 研究員

私たちは「文教みまた」の継承と発展のために、一生懸命頑張ります。

			
三股町教育委員会 園田 修司	三股小学校 荒木 秀太	三股小学校 茂田 大輝	勝岡小学校 中野 一幸
			
梶山小学校 佐藤 祐二	宮村小学校 梅ヶ谷 優紀	長田小学校 濱口 周子	三股西小学校 谷 あすか
			<p>私たちは、令和3年度の研究員です。三股町の児童生徒の学力向上のため、毎週火曜日午後5時30分から中央公民館で研究会を行っています。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
三股西小学校 吉川 真琴	三股中学校 黒木 慶太	三股中学校 今村 信春	

編集あとがき

昨年度は、「主体的に学習に取り組み、協働的に問題を解決できるみまたん子の育成」を目指して、認知能力に関する研究とオンライン学習の在り方について研究を重ねてきました。

今年度は、昨年度の研究を継承していくこととし、認知能力検査NIN0及びタブレットPCの効果的な活用について研究を進めています。認知能力検査NIN0の活用を通して、児童生徒の実態について科学的・客観的に分析し、教師の授業改善や児童生徒一人一人の学力向上につなげるためにタブレットPCの効果的な活用と関連付け、指導や支援の在り方の研究を進めています。「個に応じた指導」の充実をより一層推進していくとともに、これまでの研究と同様、三股町が推進してきたICT機器の活用を基盤とする研究です。今後も三股町の先生方のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。